

氏名： 赤松 利恵
所属： 人間文化創成科学研究科自然・応用科学系
職名： 講師
学位： 博士（社会健康医学）（24 京都大学）
専門分野： 健康教育（栄養教育）、公衆衛生学、健康心理学
E-mail： akamatsu.rie@ocha.ac.jp
URL： <http://www.food.ocha.ac.jp/>

◆研究キーワード / Keywords

健康教育／栄養教育／公衆衛生学／健康心理学
health education / nutrition education / public health / health psychology

◆主要業績

総数（14）件

- ・赤松利恵, 井土ひろみ (29) 児童を対象とした「食に対する感謝の気持ち」尺度の信頼性と妥当性の検討, 日本健康教育学会誌 (29)17(3)147-159.
- ・谷口貴穂, 赤松利恵 (29) 児童の食べ残しの行動に関わる要因の検討 - 「もったいない」という気持ちと野菜摂取について, 日本健康教育学会誌 (29)17(1)24-33.
- ・玉浦有紀, 赤松利恵, 永田順子 (29) 減量の誘惑場面における対策の質的検討, 栄養学雑誌 (29)67(6)339-343.
- ・Rie Akamatsu, Mariko Naito, Takeo Nakayama BioScienceTrends(29)3(2):44-47.Characteristics of reporting diabetes mellitus research results in Japanese newspapers, BioScienceTrends3(2):44-47.
- ・Rie Akamatsu(29)Individual Characteristics and Readiness to Change in Selecting Target Behaviors for Healthy Eating, The Japanese Journal of Health Psychology 22(1)52-59.

◆研究内容 / Research Pursuits

より良い食習慣の獲得を目指し、個人の食行動および社会環境の整備の以下のような研究を現在行っている。

1. 食行動の変容に関する研究（例：減量に関するセルフ・エフィカシーの研究、ソーシャルサポートに関する研究）、
2. 栄養教育の効果の検討（例：農業体験活動の教育的効果の検討）
3. 食品の安全教育に関する研究（例：食に関するリスクコミュニケーションの研究）
4. 子どもの食行動の変容について保護者を対象とした研究（例：子どもの食欲と間食に関する検討）、
5. 子どもの食べ残しに関する研究

The knowledge and skills through “Nutrition Education” is essential for those who are interested in promoting good health.

Our role as the dietitians is to support people find their most preferable healthy diet and how they achieve them.

This laboratory conducts survey in schools, medical clinics, communities, and even the mass media.

◆教育内容 / Educational Pursuits

29年度学部授業：栄養教育論？、栄養教育論？、栄養カウンセリング論、栄養カウンセリング論実習（専門科目）、学校栄養教育論？、栄養教育実習（教職科目）、食物科学輪講（専門科目）

29年度大学院授業：栄養教育学演習、食行動学演習

Classes in Undergraduate school,2009: Nutrition education 1, Nutrition education 2, Nutrition counseling, Practice in counseling for health education, Seminar for food and nutrition science (special subjects), Nutrition education for teaching

Classes in Graduate school,2009: Seminar Nutrition Education

◆研究計画

行動科学を用い、より科学的な栄養教育の方法論の提案を目指し研究を進めている。特に、基礎的な研究（栄養教育に必要な尺度、理論の開発 等）を中心に、ライフステージ別の検討や、社会的環境との関連など、人の食生活を多面的にとらえた研究をしていきたいと考えている。

◆メッセージ

食育基本法の制定後、栄養教育も注目されていますが、栄養教育の研究は社会のニーズに追いついていないのが現状です。「食育をする」ことにつながる科学的な「食育の研究」をやっていききたいと思っています。

そのためには、栄養教育の基礎的な研究が必要です。人を対象とする研究は、限界も多いのですが、日本ではまだまだ多くの栄養教育の研究課題が残されており、やりがいのある分野です。このような栄養教育学分野に興味もたれた方と一緒に、お茶大から新しい栄養教育を発信していききたいと思っています。